

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社橋本HD新社屋レジリエンス強化型ZEB化事業	階数	地上5F
建設地	静岡県焼津市本町2丁目76-39 他	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	92 人
地域区分		年間使用時間	2,160 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年3月12日
敷地面積	1,651 m ²	作成者	久米 陽介
建築面積	669 m ²	確認日	
延床面積	2,886 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 4

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 4.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.9

3 設計上の配慮事項		
総合 レジリエンス強化型ZEB化事業 防災避難ビルとゼロエネルギー化建築物である。 耐浪性のある構造とし最上階に避難施設を設けた。 さらに高性能な外皮、高効率設備、太陽光発電を採用し環境負荷の低減に取り組んでいる。		その他 環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の申請 建築物でBELS評価による☆5 ZEB Readyを取得している。
Q1 室内環境 内装材には化学汚染物質の少ない材料を使用し、快適な空間となるよう努めている。 また、西側一面にスクリーンウォール、トップライトを採用し一定の屋光率を確保した。	Q2 サービス性能 空間にゆとりを持たせることにより、機能的で使いやすい空間にすると共に、将来の変化にも対応できるよう配慮している。 また、仕上材に耐久性の高いものを採用し、更新必要間	Q3 室外環境(敷地内) 外部仕上等の色彩において、周辺の街並みや風景にバランスよく調和させている。
LR1 エネルギー 外壁は断熱性の高い断熱材を採用、屋根と外気床にCLTを採用し外皮性能を向上させた。 LED、高効率空調機、太陽光発電、蓄電池システムを採用しエネルギーの削減を図っている。	LR2 資源・マテリアル 国産材の再生可能な木材によるCLTを採用し、資源の有効活用とした。 また、地球温暖化係数の小さな断熱材を採用して地球環境に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼器具を使用せず地球温暖化対策や大気汚染防止に努めて、環境負荷低減に取り組んでいる。 また、駐車場を確保することにより周辺の交通負荷の抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される